

桐生商工だより

Vol.835

2025

01

Topics

榎山和久会頭年頭のあいさつ

桐生商工会議所令和6年のあゆみ



FASHION TOWN KIRYU
PHOTO CONTEST

第28回（2022年度）特選

「西宮神社 初日の出」綾部すが氏



年頭あいさつ・所感

01 初山和久 桐生商工会議所会頭

02 荒木恵司 桐生市長

金子昌彦 群馬県商工会議所連合会会長

03 小林 健 日本商工会議所会頭

年賀広告

04 桐生商工会議所役員・議員等

08 桐生商工会議所関係団体

10 桐生商工会議所ニュース オープンファクトリー事業開催

11 青年部リポート 視察研修開催／桐コン参加者募集中

女性会リポート 県女連特別講演会に参加

桐生商工会議所

12 令和6年の歩み

14 INFORMATION

16 両毛5市ネットワークコーナー 各商工会議所会頭年頭あいさつ

17 新入会員の紹介・関係団体等の新年会開催日程・会議所カレンダー

桐生商工だより 令和6年度表紙シリーズ

📷「ファッションタウン桐生写真コンテスト」入選作品より

桐生ならではの催事や地域資源、観光資源などを掘り起こして発信すべく1995年より毎年度作品を募集している「ファッションタウン桐生写真コンテスト」。力作が揃う過去の入選作品の中からピックアップした写真が表紙を飾り、桐生の魅力を表現します。

令和6年度 桐生商工会議所 スローガン

1. めざせ、小さな世界都市
2. 桐生のまち全体のブランド化を進めよう
3. 2,100会員達成と組織力強化

会 員 数

2,056人
(+4)

人 □ 101,312人 (-81)

世 帯 数 49,267世帯 (+16)

事業所数 5,453 社

人口、世帯数は11/30現在、事業所数は令和3年経済センサス活動調査より算出



近藤酒造株式会社

〒376-0101 群馬県みどり市大間々町大間々1002
TEL.0277-72-2221 FAX.0277-73-1603
<http://www.akagisan.com>

未成年者の飲酒は法律で禁じられています。



お客様に地域で一番愛される事務所になる

桐生中央税理士法人
有限会社 山上会計事務所

営業時間／8:30～18:00(土・日・祝休)

〒376-0027 群馬県桐生市元宿町9-26

関東信越税理士会 桐生支部

代表税理士 横山 嘉孝

税理士 高畠 佳正

税理士 松井 孝峰

TEL.0277-46-1122

FAX.0277-22-0338



二〇二五年を迎えて



桐生商工会議所
会頭 山 和 久

2025年の年頭にあたり、桐生商工会議所会員の皆様に謹んで新年の挨拶を申し上げます。

さて、昨年は年初に能登半島地震が発生し、その後も多くの大規模自然災害が日本列島を襲いました。被災された方々、事業者の皆さまには心からお見舞いを申し上げ、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

わが国経済は、停滞から成長への転換点を迎えていると言われます。しかし、地域経済においてはその実感はなく、円安や物価の上昇による原材料価格の高騰、需要の停滞、従業員の確保難などに加え、賃上げの動きの拡大には防衛的な対応を迫られ、特に中小・小規模事業者には非常に厳しい状況が続いています。

中小・小規模事業者は「稼ぐ力の強化」に向け、価格転嫁の浸透に加え、デジタル化等による生産性の向上やイノベーション、事業再構築、脱炭素やGX、事業承継などに取り組んでいくことが求められています。商工会議所は、事業者の持続的な発展に向けて、その役割がこれまでのどの時代にも増して大きなものであると感じています。

それには、役員・議員の皆さまをはじめとする商工会議所の全機能、行政、関係諸機関、団体との緊密な連携と協働のもと、桐生の総合力をもって産業界を盛り上げ、発展させていかなければならないと強く思っております。

会頭就任以来5年間にわたり取り組ませていただいております3つのビジョンは引き続き進めさせていただきます。まず、「会員増強2100件の達成と組織力強化」では、悲願の2000会員達成を経て、現在、2050会員を超えております。会員の力は商工会議所の力につながりますので、2100会員を何としても突破し、さらに強い商工会議所を作ってまいります。

「めざせ、小さな世界都市」は、世界を相手に事業拡大をしている小さな世界企業の顕彰を継続し、さらに会員事業所の海外展開を実質的にサポートしていくためのセミナー開催やジェトロ、日本商工会議所の海外展開イニシアティブの活用などに取り組み、産業界全体の発展に寄与していきたいと思っております。

「桐生のまち、全体のブランド化」については、ウェブサイトを「桐生クラフトストーリー」をベースに、具体的な戦略としての「桐生オープンファクトリー」を昨年12月に実施し、13工場の参加により大きな反響をいただきました。桐生ならではの地域資源・産業資源を連携した形の「オープンファクトリーのまち」を創り、全国に発信していきたいと存じます。

商工会議所内部の部会並びに委員会は商工会議所事業推進の根幹に関わる組織ですが、産業経済情勢が大きく変化しているなかで、顕在化してきた問題や議員をはじめとする関係各位の熱心な調査・研究

活動などにより新たに掘り起こした提案課題等を組上に載せ、その解決に向けての活発な議論と行動とともに、より実効的な政策提言としてまとめあげ、桐生発展の拠り所にしていきたいと思っております。

伴走型小規模事業者支援事業としての「経営発達支援計画」はこの3月で2期目が終了いたしますが、10年間の取り組みで、小規模事業者に対する職員の接し方、対応など指導推進体制が大きく変わったと感じ、桐生市との協働で行っている官民合同伴走型支援事業の推進につながっております。

スタートアップ、創業支援としての「桐生イノベーションプロジェクト」は昨年、創業塾としてのアカデミーとシティブランディング事業を行い、3月にはビジネス発表会「EXPO」を開催いたします。人口減少と少子高齢化、事業所数の減少や産業構造の変化など多くの課題があるなかで幕を開けた2025年、厳しさは否めませんが、桐生商工会議所は輝ける桐生の将来に向け、持続可能な地域として発展させていく使命を課せられていることを肝に銘じ、積極果敢に取り組んでまいります。

「地域とともに、未来を創る」。桐生地域の未来を切り開いていくために、会員事業所をはじめ役員・議員・幹事、青年部、女性会の皆さまと職員の力を結集し、国・県・市並びに関係機関や各種団体とのより強固な協調体制を図りながら、力を尽くしていく覚悟であります。

皆様におかれましては、健康に留意していただきながら、それぞれのお立場で事業の繁栄に精進され、新しい年が桐生市はもとより、各業界の限らない発展につながる年になりますことを祈念申し上げ、年頭の挨拶いたします。



年頭あいさつ



桐生市長
荒木 恵司

明けましておめでとうございます。桐生商工会議所会員の皆様におかれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、7月には、桐生新町重伝建地区において重伝建地区公開活用施設「まちなか交流館」を開館しました。車道・歩道の石畳風舗装化と合わせ、街並み景観が整いますことから、同地区を桐生の「顔」とし、遊園地・動物園との周遊性を高めながら、観光誘客の更なる促進、そして中心市街地の活性化に繋げてまいります。

さらに11月には、夜間のタクシー不足を解消するため、全国に先駆け「日本版ライドシェア」の運行を開始しまし

た。市民の皆様の新たな交通手段として、ぜひご活用いただければと思います。

また最近では、中心市街地などの空き店舗において、若い世代による店舗開業が進み、テレビや雑誌など多くのメディアで紹介されるなど、まちの賑わい創出が図られており、大変嬉しく感じているところであります。

さて、本市の最重要課題である人口減少対策につきましては、これまで推進している各種施策に加え、「桐生独自の教育環境の確立」に注力してまいります。昨年6月に開設した群馬県によるデジタルクリエイティブ人材育成拠点「tsukurun KIRYU」や、子どもたちが理想のまちをつくり運営する「ミニきりゅう」、群馬大学との連携による「未来創生塾」や「サイエンスドクター事業」、小学生による観光ガイドを育成する「ジュニアアンバサダー制度」、小中一貫教育の義務教育学校「黒保根学園」など、桐生独自の教育資源の連携と活用を図りながら、全国に類を見ない学園都市、教育文化都市の実現を目指してまいります。

さらに本年4月には、角川ドワンゴ学園が運営するインターネットを活用した通信制高校「R高等学校」が、桐生女子高跡に開校予定であります。これにより、年間約7000人の生徒が対面形式の授業を受講するため本市を訪れることとなり、交流人口の拡大による地域活性化、飲食や宿泊施設等の利用による地域経済の活力向上に繋げてまいります。

その他、本市には、歴史・文化・自然・産業などをはじめ、全国に誇れる地域資源が数多く存在しておりますので、それらを更に磨き上げながら、公民連携の「オール桐生」により、小さくても活力に満ちた魅力ある持続可能なまちづくりを進めてまいりたいと考えておりますので、皆様には変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

令和7年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。皆さまにおかれましては、日頃から商工会議所の事業活動に多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。



(一社)群馬県商工会議所連合会
会長
金子 昌彦

面する地域経済の再生・活性化のためには、地域の将来を担う「稼ぐ産業」の育成、優秀な人材を惹きつける働く場の創出、消費・投資を喚起するまちなかの再生や経済成長の基盤となる社会資本整備等の施策推進が極めて重要です。私ども商工会議所は「地域経済の好循環」実現に向け、国、県等関係機関に対して、政策提言活動を引き続き積極的に展開してまいります。

商工会議所は、今後も地域の総合経済団体として、時代の変化を適確に捉えて自己変革を推し進め、事業者の皆さまの挑戦を全力でサポートさせていざだくとともに、産学官金の連携拠点として地域の力を結集し、地域経済の発展に邁進してまいります。

皆さまのより一層のご理解、ご協力を心からお願ひ申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとって実り多い素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

また、急激な人口減少に直



日本経済団体連合会 会長
小林 健

新たな成長への

飛躍の年に

明けましておめでとうございます。

2025年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年は内外ともに不透明かつ混乱の度合いが深まった1年でした。世界ではロシアによるウクライナ侵略の長期化に加え、中東情勢の悪化など、地政学的リスクが拡大しました。また、経済面では米国経済が堅調さを維持する一方で、中国経済の停滞が懸念される年になりました。加えて、昨年は主要国で選挙が相次ぎ、米国では4年ぶりにトランプ氏が次期大統領に就任する結果となり、保護主義や自国第一主義の台頭に対する懸念が再び高まっています。

国内に目を転じますと、1

月の能登半島地震や9月の奥

能登豪雨といった痛ましい災害に見舞われた1年でありま

した。また、秋の衆院選では

与党が30年ぶりに過半数を大

きく下回り、少数与党へ転じ

るなど政治的変動が生じる一

方で、経済では、歴史的円安

や物価高が続く中、設備投資

は好調で日経平均株価も史上

初の4万円台を記録しました。

日本銀行はマイナス金利の解

除に踏み切るなど、金融政策

にも大きな転換点が訪れまし

た。特に昨年は「賃上げ」を

テーマとした1年でもあり、

中小企業の賃上げ率も3%台

半ばに達するなど、物価と賃

金的好循環に向けた大きな一

歩を踏み出した1年であった

と総括できます。企業の自助

努力とともに、官民を挙げた

価格転嫁の取り組みが効果を

示した結果であります。賃

上げを行った中小企業の約6

割が収益改善を伴わない中で、

人手確保のための防衛的賃上

げを迫られたことも事実です。

賃上げのモメンタムをいかに

持続可能な形に転換するかが、

停滞から成長のステージに向

けた今年の大きな課題となり

ます。

成長の両輪は中小企業の

強化と地方創生

日本は経済立国であり、経

済成長なくして将来はありません。

デフレ脱却を確実にし、

成長型経済への転換を進める

ためには、GDPの6割を占

める個人消費の拡大が不可欠

です。その実現は、全企業数

の99・7%、就業人口の約

7割、地方部では約9割を担

う中小企業・小規模事業者の

生産性向上と持続的な賃上げ

にかかっているといっても過

言ではありません。成長の両

輪の一つは中小企業であり、

そのデジタル化、省力化投資

を含めた設備投資、技術革新、

知的財産の活用・保護といっ

た生産性向上への不断の努力

と自己変革によって付加価値

を高め、賃上げ原資を生み出

す必要があります。われわれ

商工会議所は本年もこうした

前向きな挑戦を続ける中小企

業を全力で支援してまいりま

す。また、労務費を含む価格

転嫁対策のさらなる推進やB

to Cでは企業側の「値を上

げる勇氣」も必要です。消費

者にも「良いサービス、良い

モノには値が付く」という認

識を持つていただき、国民全

体のデフレマインドを払拭す

ることも今年の大きなテーマ

でありますので、消費者意識

の改革とともに経済環境の改

善を目指していきたいと思い

ます。

また、成長の両輪のもう一

つは「地方創生」です。地方

の発展なくして日本の再生は

ありません。政府、地方自治

体、民間が三位一体となり、

地域への人材・投資の呼び込

みや「稼ぐ産業」の育成、イ

ンフラ整備などを通じて地域

の経済循環を強化し、地域の

強みと潜在力、いわゆる「地

域力」を引き上げるべく全力

を傾ける年にしなくてはなり

ません。地域の経済インフラ

を担う中小企業および小規模

事業者の強化は、地方創生の

取り組みとも表裏一体です。

政府・地方自治体には両者を

成長の両輪と位置づけ、地域

ごとの特性を踏まえた成長戦

略の策定と実行を強く求めた

と思いますし、われわれ全

国515の商工会議所も地域

経済の再生・活性化の先導役

として、さらに活動を強化で
きる1年にしなくてはなりま
せん。

大阪・関西万博の成功を

大きな成長の弾みに

本年4月には大阪・関西万

博が開幕いたします。停滞か

ら成長への転換点にあるタイ

ミングでの開催は、象徴的か

つ歓迎すべきことでもあります。

「いのち輝く未来社会のデザ

イン」をテーマとする20年ぶ

りの万博開催が、新たな未来

をつくる起爆剤となるよう、

全国の商工会議所一丸となっ

て盛り上げてまいりましょう。

わが国全体の未来に向けて成

長に弾みのつく万博となるこ

とを切に願ひ、皆さまの一層

のご支援とご協力を心からお

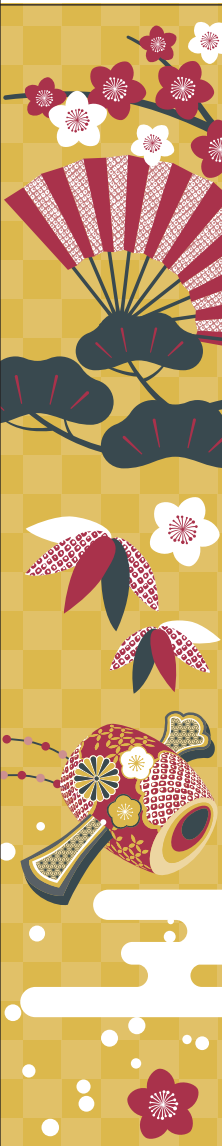
願い申し上げて年頭のご挨拶

とさせていただきます。

以上



謹賀新年

常 議 員	常 議 員	常 議 員	相 談 役	専 務 理 事	会 頭
立 澤 俊 明  (株)アスパックス 代表取締役社長	鍵 田 実  (株)矢野 会 長	北 川 貴 久  (有)フジヤ 代表取締役	北 川 祐 一 郎  北川設計 所 長	石 原 雄 二 	杉 山 和 久  (株)サンフード 代表取締役会長
常 議 員	常 議 員	常 議 員	相 談 役	名 誉 会 頭	副 会 頭
藤 掛 和 男  (株)トールワ 取締役会長	岡 田 哲 夫  フジハツ工業(株) 取締役会長	竹 内 靖 博  (株)シロキヤ 代表取締役	市 川 導 宏  (株)市川鉄工 代表取締役会長	山 口 正 夫  (株)トヨダプロダクツ 代表取締役会長	宮 地 由 高  (有)青柳 取締役会長
常 議 員	常 議 員	常 議 員		名 誉 議 員	副 会 頭
八 木 橋 比 佐 樹  (株)協和 代表取締役	小 倉 康 宏  小倉クラッチ(株) 代表取締役社長	田 中 栄 一  日本ゼウス工業(株) 代表取締役社長		小 西 孝 史  (株)群馬銀行 桐生支店 支店長	津 久 井 真 澄  桐生信用金庫 理事長
常 議 員	常 議 員	常 議 員		常 任 相 談 役	副 会 頭
大 澤 邦 博  桐生トリコット(株) 取締役会長	佐 藤 賢  (株)山田製作所 代表取締役社長	茂 木 理 亨  (株)モギカバン店 代表取締役		養 田 隆  (株)マルキン 代表取締役会長	笠 原 康 利  (株)笠盛 代表取締役会長
常 議 員	常 議 員	常 議 員		常 任 相 談 役	副 会 頭
尾 花 靖 雄  (株)ユニマーク 代表取締役	武 信 幸  (株)ミツバ 代表取締役副社長 執行役員	山 本 豊  (株)日進 取締役会長		菅 谷 武  (株)ジャパン アイデアセンター 代表取締役	藤 生 五 郎  (株)桐生ソウイング 取締役会長

謹賀新年

議員 高野智弘  (株)桐生山葵問屋 代表取締役社長	監事 田中良典  (有)スズキワーパー 技術／業務課長	常議員 田中一牧  桐生典礼(株) 代表取締役社長	常議員 森末廣  (株)森エンジニアリング 取締役会長	常議員 押見新一郎  押見会計事務所 所長	常議員 黒澤昇  (株)黒沢レース 代表取締役社長
議員 星野将元  (株)ほしのドライ 代表取締役	議員 鶴川 詔八  (株)アイブレイン 代表取締役	常議員 野沢八千万  (株)フライングガーデン 代表取締役会長	常議員 吉野雅比古  桐生建設(株) 代表取締役社長	常議員 福島哲史  (株)東和銀行 桐生支店 支店長	常議員 篠田 一  丸中(株) 代表取締役
議員 本田雄一郎  (株)ホンダ 代表取締役社長	議員 岡部信一郎  オカベパックス(株) 代表取締役	常議員 福田雅之  東洋ポリーズ(株) 代表取締役社長	常議員 岡田昌之  カナイ石油(株) 代表取締役社長	常議員 新井茂男  坂本建設(株) 代表取締役	常議員 柳 明彦  (株)ヤナギ 代表取締役
議員 森 裕美  森産業(株) 代表取締役社長	議員 岸田啓作  (株)近江屋書店 代表取締役社長	監事 小林雅子  小林当織物(株) 相談役	常議員 小林康人  (株)沼田屋タクシー 代表取締役	常議員 清水哲  清水開発(株) 代表取締役	常議員 石原照久  石原会計事務所 所長
議員 山崎達也  メデアランド・ウイング(株) 代表取締役	議員 佐瀬守男  (株)ホットランド 代表取締役	監事 柳澤彰  柳澤彰税理士事務所 所長	常議員 坂入 勝  (株)美喜仁 代表取締役	常議員 星野麗日  星野管工(株) 代表取締役社長	常議員 大谷 章吾  (株)足利銀行 桐生ブロック 統括支店長

謹賀新年

議員 和田 貞之  (株)ワタミツ 代表取締役社長	議員 栗原 清吉  (株)ユーホー 代表取締役	議員 山口 晃史  (株)トヨタプロダクツ 代表取締役社長	議員 須藤 純吾  (株)須藤機械 代表取締役社長	議員 市川 昌宏  (株)市川鉄工 代表取締役社長	議員 養田 達人  (株)マルキン 取締役社長
議員 尾花 克彦  尾花会計事務所 所長	議員 澤田 匡宏  丸幸(株) 監査役	議員 山田 一喜  (株)LIXILサンウェ ープ製作所 桐生工場 工場長	議員 栃木 和紀  (株)新光鍍金 代表取締役社長	議員 大西 健太郎  (株)大西ライト工業所 代表取締役社長	議員 横室 和明  桐生中小企業 福祉事業(協) 専務理事
議員 中島 俊太郎  中島総合法律事務所 弁護士	議員 周東 通人  周敏織物(株) 代表取締役	議員 朝倉 剛太郎  朝倉染布(株) 代表取締役社長	議員 新見 有之  新見化学工業(株) 代表取締役社長	議員 加藤 貢  加藤鉄工(株) 代表取締役	議員 會田 正樹  桐生工業(株) 取締役
議員 中村 孝  アクサ生命保険(株) 桐生営業所 所長	議員 長谷川 博紀  森秀織物(株) 代表取締役	議員 荒川 智毅  荒川織物(有) 専務取締役	議員 西場 伸一  西場工業(株) 代表取締役	議員 佐羽 宏之  三立応用化工(株) 代表取締役社長	議員 新井 智乙  (有)新井工業 代表取締役
議員 秋山 義則  桐生水道(株) 代表取締役	議員 村田 欽也  村田刺繍所 代表	議員 柿沼 太郎  柿文織物(株) 代表取締役社長	議員 柳沢 武利  プラスト精工(株) 代表取締役	議員 鈴木 至典  (株)鈴木機械 代表取締役	議員 石川 正彦  (株)モミモ 代表取締役社長

謹賀新年

議 員 和 田 洋 一  (株)光画社 代表取締役	議 員 山 根 明  (株)山根商事 代表取締役社長	議 員 塚 越 隆 史  桐生瓦斯(株) 代表取締役社長	議 員 北 澤 直 来  (株)両毛システムズ 代表取締役社長	議 員 増 田 浩 三  (株)増田コーポレーション 代表取締役	議 員 大 澤 直 也  大澤木工(有) 代表取締役
		議 員 中 山 賀 司  (株)東和広告システム 代表取締役	議 員 木 村 洋 一  (株)桐生タイムス社 代表取締役社長	議 員 吉 田 慶 彦  (株)吉田組 代表取締役社長	議 員 川 島 啓 作  協和産業(株) 代表取締役社長
		議 員 塩 谷 幸 世  太陽印刷工業(株) 代表取締役社長	議 員 六 本 木 茂 夫  (株)島田組 相談役	議 員 腰 塚 富 夫  (株)サン建設 取締役会長	
		議 員 鈴 本 章 弘  (有)鈴直モーターズ 代表取締役社長	議 員 石 埜 茂  (株)アイクルー 代表取締役	議 員 通 崎 篤  (株)三興エンジニアリング 取締役相談役	
		議 員 鈴 本 賢 治  (有)ケーミープランニング 代表取締役	議 員 川 田 利 雄  (株)桐生旅行 代表取締役	議 員 平 澤 操  平澤建設(株) 代表取締役	

2025

謹賀新年



桐生商店連盟協同組合

理事長 今川 守
副理事長 山田 秀彦
〃 茂木 理亨
〃 多田 和生
〃 中村 昌也

桐生地区勤労対策協議会

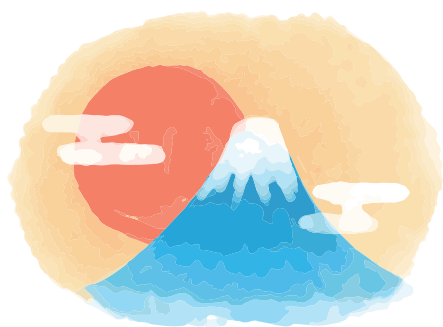
会長 榎山 和久
副会長 今川 守
〃 周東 通人

桐生地区プラスチック工業会

会長 松島 孝三
副会長 宮原 一二
〃 佐羽 宏之
〃 新井 信一
〃 柴田 敦
〃 大西 健太郎

桐生広域金属プレス工業会

会長 赤木 馨
副会長 岩崎 研司



桐生地区産業環境保全連絡協議会

会長 飯村 俊彦
副会長 谷村 良一
〃 吉田 治義

桐生青色申告会

会長 高瀬 安夫
副会長 遠藤 三男
〃 大澤 實
〃 阿部 勝彦
役員 同

桐生商工会議所青年部

会長 養田 正人
直前会長 正田 智子
副会長 朝倉 康行
〃 横倉 紫乃
〃 藤生 幸司
〃 齋藤 一
〃 吉田 慶彦
専務理事 森田 曜市

桐生商工会議所青年部OB会

会長 柳塚 明彦
副会長 山根 富夫
〃 金子 督

桐生商工会議所女性会

会長 川村 文子
副会長 高梨 静江
〃 近藤 幸子
〃 糸井 容子



ぐんま警察官友の会

会長 榎山 和久
理事 市川 昭二
〃 市川 昌宏

桐生発明協会

会長 尾形 永
副会長 根津 紀久雄
〃 塚越 隆史
〃 森裕 美
〃 大木 忠行

ファッションタウン桐生推進協議会

会長 榎山 和久
副会長 宮地 高
〃 津久井 真澄
〃 笠原 利
〃 藤生 五郎
〃 周東 通人
〃 今川 守
役員 同

★以上の団体は会議所内に事務所を置く関係団体です。



明けましておめでとうございます。
今年も私たちは、地域の皆様に優しさと誠実を尽くしてまいります。
どうぞよろしく願いいたします。

代表取締役 板場 俊 方

花一輪のやさしさを...
セモールホール 板場 ☎0277-52-5571
(本 社) 桐生市広沢町1-2915
(ホー ル) 桐生市相生町1-628-10

大河ドラマ「べらぼう」コラボ線香 好評販売中

RBS RYOMO BUSINESS SUPPORT

地域の未来を支える。
Support the future of the region.

情報管理業務支援ソリューション
水道業務支援ソリューション
行政事務支援ソリューション

株式会社両毛ビジネスサポート
お問合せ先: 0277-70-6600

めざすのは、
持続的に
発展できる
地域循環型のミライ。

つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

NTT東日本グループ

NTT東日本グループのサステナビリティ
K24-3910[2501-2501]



相続・成年後見・登記など お気軽にご相談ください

司法書士・社会保険労務士・行政書士

曾根康仁事務所

桐生市広沢町4丁目2281-4
TEL.0277-54-3577

まごころ一番
相生典礼会館

事前相談24時間承ります

☎0277-55-0101
☎0120-552601

従業員の健康増進
仕事と子育ての両立をサポート

厚生労働省大臣認定 子育てサポート企業
全国健康保険協会登録 生き生き健康事業所
農業用資材販売

 **三高産業株式会社**

群馬県桐生市境野町7-1860 <https://mitaka-kk.com>
TEL: 0277-43-7181 FAX: 0277-43-5380
mail: info@mitaka-kk.com

Taiyo

Printing Industry Co., Ltd

あなたの街の印刷屋さん…

太陽印刷工業株式会社

群馬県桐生市三吉町2丁目7-53
TEL.0277-45-2016 FAX.0277-45-2024

群馬労働局長登録教習機関
株式会社 加藤製作所
群馬教習センター

住所：群馬県太田市東新町823 TEL: 0276-55-5155

免許教習 移動式クレーン クレーン限定	技能講習 小型移動式クレーン 床上操作式クレーン 玉掛け フォークリフト
特別教育 小型車両系建設機械(整地) フルハーネス型墜落制止用器具 アーク溶接 自由研削といし 粉じん	車両系建設機械(整地用) 車両系建設機械(解体用) 不整地運搬車 高所作業車






美喜仁

海鮮ダイニング

美喜仁館 桐生店 TEL0277-46-3420
美喜仁館 太田店 TEL0276-47-3666
美喜仁館 高崎店 TEL027-364-3377

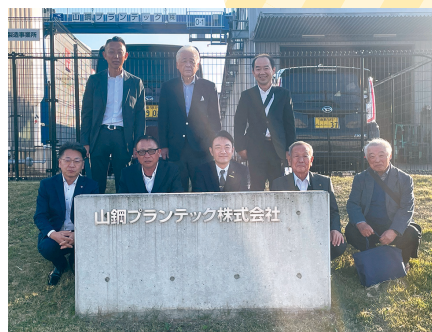
各種宴会、法要会など
あらゆるシーンにご対応致します。

美喜仁本店 TEL0277-44-5921
美喜仁桐生文化会館 TEL0277-44-6596

お持ち帰り専門店
KATSU
活 美喜仁 TEL0277-44-5921

NEWS 工業部会 視察研修会

倉敷・神戸方面を視察



視察に参加した工業部会メンバー

当所工業部会（立澤俊明部会長）は、本年度の視察研修として、11月22日から24日まで倉敷・神戸方面を訪問し、事務局を含む7名が参加した。初日の22日は岡山県倉敷市を訪れ、製缶や溶接レーザー加工などの金属加工を行うものづくり企業で同市内に本社を置く山鋼フランク株式会社を訪問。同社はプラント設備の設計・製造などを行うほか、近年はギアを用いない国内初の中型発電機を開発するなど、風力発電事業の自社開発にも注力。各所でカーボンニュートラルへの取り組みが進むなか、新たに取り組む低コスト・高効率な発電機の開発事業の説明に参加者は興味津々だった。

2日目の23日は趣のある景観が並ぶ倉敷美観地区を見学した後、姫路市に移動し世界文化遺産・国宝の姫路城を見学。その後神戸市に移り、3日目の24日は六甲山頂の六甲ガーデンテラス、日本一の酒どころ「灘五郷」エリアに位置する「沢の鶴資料館」、平成7年に発生した阪神・淡路大震災の経験と教訓を後世に伝える災害ミュージアム「人と防災未来センター」を見学した。

全三日間の行程を終え、有意義な視察研修会となった。

NEWS オープンファクトリー事業

「KIRYU FOCUS」開催

当所がスローガンの一つに掲げる「桐生のまち全体のブランド化」の一環として取り組むオープンファクトリー事業「KIRYU FOCUS」が、12月6日（金）～8日（日）の三日間の日程で開催された。

日常生活では目に触れにくい工場・工房を主役としたイベントで、昨年に続き二回目となり、今回は、13事業所が参加した。



参加者は事業者と触れ合いながら各製造現場を体感した

期間中は製造現場を来場者に開放し、工場見学・作業体験・ワークショップ・販売会・トークショーなどを展開した。

来場者は桐生のまちに集積した産業・技術の現場を直に体感し、事業者との交流も楽しみながら、個性溢れる各事業所の魅力に触れた。

今回初めて参加した朝倉染布（株）の担当者は、「オープンファクトリーを通じて、逆に普段気付くことができなかった会社の良いところを再認識することができた」と喜んだ。

NEWS 妄想工作家 乙幡啓子氏が講演

「モノづくりの試行錯誤」を語る



ユニークな作品の数々を紹介し会場を沸かせた

当所が取り組むオープンファクトリー事業「KIRYU FOCUS」の開催に先立ち、「妄想工作家」として活躍する桐生市出身の乙幡啓子さんが11月29日（金）、桐生商工会議所会館で講演した。

実行委員会（朝倉剛太郎委員長）が、イベントを事前にPRし、機運を高めようと企画したもので、オープンファクトリーの参画事業者など約30人が聴講した。

乙幡さんは1970年桐生市生まれ。桐生西中、桐生女子高、津田塾大卒。2003年から「デイリーポータルZ」のライターとして活躍、11年に「妄想工作所」を設立した。オリジナルキャラクターやカプセルトイなどを数多く手がけている。

講演は、「妄想を現実にする仕事術」と題し、奇想天外な発想から生まれた作品の数々と、ヒット商品を生み出すまでの試行錯誤を、自身の経験に基づき語った。

桐生商工会議所

“会員感謝の集い”

日時

令和7年2月28日（金）午後6時（予定）

会場 桐生商工会議所ケビックホール

対象 会員の方ならどなたでも参加できます

参加費 無料

※詳細は本紙同封の折込チラシをご覧ください

視察研修

「防災と経済の現場を巡る」そなエリア東京 防災体験と東京証券取引所見学」開催

当所青年部（養田正人会長）は11月27日に視察研修会を開催し、そなエリア東京と東京証券取引所を見学、青年部メンバー26名が参加した。

視察研修会はビジネス向上委員会（山崎晃美委員長）の主管により開催され、まず東京証券取引所のガイド付ツアーに参加して、現場を体感し、東証が日本の経済においてどのような役割を果たしているのか、またその歴史的背景について学んだ。その後、昼食はホテルニューオータニのランチビュッフェを楽しみ、参加者同士の交流を深めた。



「そなエリア東京」で大震災を想定した防災体験に臨んだ

続いて「そなエリア東京」にて「東京直下72h TOUR」に参加し、大震災発生後支援体制が整うまでの3日間（72時間）を自力で生き抜く知識を学んだ。

個人ではなかなか行かない施設のツアーに参加し、たいへん有意義な研修となった。

2/1① 桐コン（婚活事業）「お肉でマッチングinスミテラス」参加者募集中

当所主催の婚活事業、桐コン「お肉でマッチングinスミテラス」が2月1日（土）に開催される。

この婚活事業（桐コン）は青年部が主管し開催するもので、今回は黒保根町の「スミテラスBBQ水沼」を会場とし、屋内会場で楽しめるバーベキューを味わいつつ、ボードゲームなどのレクリエーションを通じて出会いの場を演出する。

申込期限は1月15日まで（先着順）。

【詳細は左記参照】

♡♡ お肉でマッチング in スミテラス



参加者募集のお知らせ

開催日	2025年2月1日（土）
受付時間	午前9時30分～9時50分
開催時間	午前10時00分～午後4時30分（移動時間を含む）
会場	スミテラスBBQ水沼（桐生市黒保根町）
集合場所	桐生商工会議所または桐生駅
参加資格	出会いに興味のある25歳から45歳の独身の方
募集人数	男性16人／女性16人 ※男性の申込みは、定員に達しました。
参加費	男性 6,000円／女性 2,000円
申込方法	WEBページの応募フォームよりお申込みください ○桐コン公式WEBページ https://kirikon.com
申込締切	2025年1月15日 先着順
問合せ	桐生商工会議所青年部 ☎0277-45-1201



県商女性連「ミュージカル劇団アラムニー公演会並びに懇親会」参加

群馬県商工会議所女性会連合会（石川直子会長）の「ミュージカル劇団アラムニー公演会並びに懇親会」が、12月2日に前橋商工会議所にて開催され、当所女性会（川村文子会長）より3名が出席した。

公演を行った「ミュージカル劇団アラムニー」は、群馬県内の高校を卒業した女子大学生を中心に構成されたミュージカルの専門劇団。

今回の公演では、令和7年2月より本公演を控えている「愛と死の旅路」エリザベットの真実」のショート版が上演された。参加者一同、県内出身の若い女性の活躍を応援し、公演後の懇親会では県内各地の女性会員との絆を再確認した。



公演後に懇親会が開催され各地女性会員と親睦を深めた

令和6年

桐生商工会議所の歩み

1月

◆5日 新春互礼会をケービックホールで開催。地元選出国会議員や関係団体、関係諸官庁からの来賓をはじめ、当所の議員、部会幹事、青年部・女性会役員など約200名が参加し、桐生市の産業振興と繁栄に向け、結意を新たにしました。会場では、元日に発生した令和6年能登半島地震被災地への募金の協力を呼びかけた。青年部（正田智子会長）が同会員などから集めた食料や飲料水などの支援物資を被災地に向けて発送した。



◆23日 この日から2月22日までを募金受付期間として、令和6年能登半島地震被災地及び被災商工会議所支援のための災害義援金の協力を会員事業所に呼びかけた。受付期間終了までに140事業所等から計450万円の義援金が寄せられ、日本商工会議所経由で被災地に送られた。

2月

◆1日 中小企業基盤整備機構が主催し、当所と桐生市が共催した事業承継・後継者育成セミナー「次世代トッパーリーダー養成講座」が3日間（2/1・2・27）開催された。

◆3日 婚活イベントの桐コン「恵方婚活」愛の郷・恋はウチー」が、桐生・森の郷で開催された。当所青年部が主管し、男女37名が出会いを求め参加した。

◆6～8日 東京ビッグサイトで開催された共同展示商談会「Lead IN PPOZ 春2024」に染と織襪、Ladybird Press が出展した。

◆9日 理財・厚生部会（押見新一郎部会長）主催による「はじめての消費税計算と申告のポイント」をテーマとしたセミナーを開催した。

◆11日 桐生市堀マラソン大会に合わせて、青年部がグルメイベント「キッチンカーde地域活性化in堀マラ」を開催、11台のキッチンカーと飲食ブース5店が出店した。

◆15日 当所と桐生市、桐生信用金庫による中小事業者と企業退職者（新現役）のマッチング事業「新現役交流会」がケービックホールで開催された。

◆16日 「会員感謝の集い」をケービックホールで開催。200人以上が参加した。25年の永年継続会員の表彰や懐メロ歌謡バンド「ノスタルジクス」によるパフォーマンス、福

3月

引抽選会が行われた。青年部の「経営女子会」初心者でもわかる新NISA講座＆ランチ交流会」が開催された。

◆7～9日 環境・生活部会（坂入勝部会長）の視察研修が開催され、台湾を訪問した。

◆11日 当所が「健康経営優良法人」に認定された。

◆14日 繊維部会（柳明彦部会長）の視察研修が開催され、新潟方面を訪問した。

◆19日 通常議員総会が開催され、令和6年度の事業計画、各会計収支予算案が決議された。

◆29日 関東経済産業局が実施し桐生市と当所が連携した官民合同企業支援チームによる伴走型支援事業成果発表会が開催され、令和4年度より約2年にわたり行われた支援事業の成果が報告された。



4月

◆1日 令和6年度がスタート。スローガンは、「めざせ、小さな世界都市」「桐生のまち全体のブランド化を進めよう」「2100会員達成と組織力強化」の3項目。

5月

経営相談体制の強化を目的に専門相談員を配置した。

◆13日 桐生少年少女発明クラブの令和6年度開講式が開催された。

◆24日 当所や桐生市などが共催する桐生市合同企業説明会が開催され、34の企業・団体が出展した。

第29回ファッションタウン桐生写真コンテストのカメラ部門作品の審査会が行われ、最高賞の「推薦」に田村陽一さんの「お菓子ちよーだい」が選ばれた。応募されたカメラ部門全作品は当所1階ロビーにおいて、5月23日から6月28日まで展示された。

◆29日 令和6年春の褒章で小林雅子監事が黄綬褒章を受章した。

◆30日 青年部の定時総会が開催され、役員改選で養田正人氏を会長に選任した。

6月

◆1日 当所環境・生活部会前常議員の小林克之氏が逝去。81歳。

◆14日 当所元副会頭の北川貞彦氏が逝去。90歳。

◆28日 当所常議員会の席上、名誉議員に小西孝史氏が委嘱された。

◆29日 所内団体の桐生機械工業連合会が解散し、48年の歴史に幕を閉じた。

7月

◆14日 ファッションタウン桐生推進協議会の第28回定時総会がケービックホールで開催された。総会終了後は、笠原康利運営委員長による卓話と「2024わがまち風景賞」の表彰式も行われた。

◆20日 青年部の新入会員オリエンテーションが開催された。

◆25日 通常議員総会が開催され、令和5年度事業報告並びに各会計の決算議案、26案件の政策提言が上程され、いずれも原案通り承認された。また、同席上にて「第3回小さな世界都市桐生大賞」の受賞企業が発表され、(株)シンクトゥギャザー（宗村正弘代表）が選ばれた。



◆30日 女性会（川村文子会長）の視察研修会が開催され、埼玉県行田市方面を訪問した。

7月

◆2日 女性会の講演会が開催され、(株)やすらぎ（現カチタス）創業者の須田忠雄氏が講師を務めた。

◆2～3日 商業部会（茂木理亭部会長）の視察研修が開催され、静岡県富士市・三島市方面を訪問した。

◆9日 桐生地域の産業振興と活性化につなげるため、重要課題を各部会・委員会で協議し集約した24案件の政策提言要望書を荒木恵司桐生市長と人見武男桐生市議会議長に提出した。

青年部による「経営勉強会」がケービックホールで開催された。

◆11日 茨城・栃木・群馬三県商工会議所交流会が当所ケービックホールなどを会場に開催された。

◆12日 産業環境保全連絡協議会（飯村俊彦会長）主催による「避難所運営ゲーム（HUG）」をテーマとしたセミナーが開催された。

◆30日 当所主催「めざせ小さな世界都市セミナー」として、「メインストリート・プログラムはまちづくりの総合戦略だ！」をテーマに、アメリカの都市再生戦略である同プログラム研究の第一人者、松本博之氏による講演会を開催した。

8月

◆2～4日 第61回桐生八木節まつりが三日間にわたって開催された。近年の酷暑からジャンボパレードは予め休止とされたが、親善都市の徳島県鳴門市から阿波踊りチームが13年ぶりに来桐したほか、ダンス八木節、全日本八木節競演大会、鈴の曳きなど多彩な催しが繰り広げられ、期間中は48万1千人の人数で賑わった。



◆24日 当所の桐生イノベーションプロジェクト実行委員会（新見直広委員長）と桐生市が連携して実施する桐生市シティブランディング推進

補助事業の対象事業を選考する審査会が行われ、吾妻山登山競走実行委員会と桐生市本町六丁目商店街振興組合の企画が対象事業に選ばれた。

◆28日 当所が主催する、次代の桐生を担う起業家育成講座「桐生イノベーションアカデミー」が開講した。

9月

◆11日 青年部の「経営女子会」異業種ランチ交流会が開催された。

◆12日 第65回群馬県商工会議所議員大会が伊勢崎市で開催された。群馬県内から役員・議員など約330人が参加し、県内10会議所から出されていた要望事項などが大会で決議された。

◆14～15日 第66回桐生市発明考案展覧会が開催された。

10月

◆1～3日 建設部会（吉野雅比古部会長）の視察研修が開催され、長崎県方面を訪問した。

◆5日 第33回会員ゴルフ大会を開催、60名が参加した。優勝は一般の部が前原剛一さん、シニア・レディースの部が藤生五郎さんだった。



◆15日 青年部の臨時総会が開催され、次年度会長に齋藤一直副会長が選出された。

◆17日 群馬県商工会議所女性会連合会の令和6年度活動報告会・特別講演会・会員交流会が、当所女性会が運営を主管し桐生グランドホテルにて開催された。

◆22日 榎山会頭を含む県内の会議所会頭らが群馬県庁を訪れ、議員大会で決議した要望事項の陳情を行った。

◆25日 第28回桐生ファッションウィーク（小山哲平実行委員長）が開幕（11/4まで）。約30団体が市内各所でイベントを開催、秋の桐生を彩った。また、同実行委員会と連携して学校法人角川ドワンゴ学園が運営するN高等学校・S高等学校生徒の体験学習プログラムが桐生市内で実施され、成果発表等が行われた。



◆25～27日 東京ビッグサイトで開催された共同展示商談会「GOOD LIFE フェア2024」に、PRIET.com + position、(有)山製作所、(有)平賢が出席した。

◆30日 繊維部会主催講演会を開催。「もうひとつのデザイン競走」商標

デザインの歴史に見る桐生の気概」をテーマに川嶋伸行氏が講演した。

11月

◆2日 桐生商店連盟協（今川守理事長）は「100円商店街in桐生」を開催。商店街の約90店舗が目玉商品などを100円で販売し、多くの人出で賑わった。

◆3日 令和6年秋の叙勲で榎山和久会頭が旭日小綬章を受章した。

◆第17回クラシックカーフェスティバルin桐生」を群馬大学理工学部で開催。約280台が集結した旧車の祭典に多くの人が来場した。

◆8～10日 環境・生活部会の視察研修が開催され、沖縄県石垣島方面を訪問した。

◆15日 繊維部会の視察研修が開催され、長野県方面を訪問した。

◆17日 女性会の講座「桐生宝生会『月並会』見学会」を開催した。

◆21日 桐生信用金庫が主催し当所と桐生市など7団体が共催する令和6年ビジネスマッチングフェアが開催され、175ブースが出展、約3500人が来場した。

◆23日 群馬県商工会議所連合会は地元選出の国会議員との陳情朝食会を高崎市で開催し、議員大会で決議された要望事項を陳情した。当所からは榎山和久会頭が出席した。

◆22～24日 工業部会（立澤俊明部会長）の視察研修が開催され、倉敷・神戸方面を訪問した。

◆27日 当所主催による講習会「AI・ロボットの活用による人手不足解消セミナー」を開催した。

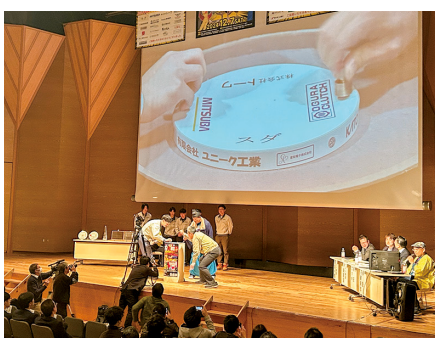
青年部の視察研修会が行われ、そなエリア東京と東京証券取引所を訪問した。

◆29日 桐生オープンファクトリー事業特別講演会を開催。講師は妄想工作家の乙幡啓子氏が務めた。

12月

◆6～8日 当所主催のオープンファクトリー事業「KIRYU FOCUS」を開催、参加した計13事業所・団体が自社工場等を来場者に開放し、工場見学、ワークショップ等を展開した。

◆7日 「全日本製造業コマ大戦」の第6回桐生場所が美喜仁桐生文化会館で開催され、全41チームが熱いバトルを繰り広げた。



◆8日 第33回役員・議員等ゴルフ大会を開催し、新井茂男さんが優勝した。

◆13日 第29回会員ボウリング大会を開催し、55人が参加した。優勝は男性の部が風間昭宏さん、女性の部が村岡君江さんだった。

◆17日 当所主催による講習会「Instagramビジネス活用セミナー」を開催した。

◆18日 当所主催による講習会「生成AIを活用したSNS販促セミナー」を開催した。

※記載されている役職名は当時のものです。



群馬大学理工学部PBL教育の 協力参加企業を募集します

群馬大学理工学部では問題解決型教育プログラム「PBL (Project/Problem Based Learning) 教育」を導入しています。PBL 教育では、実践を通して課題を発見し、解決に導く能力を持った学生の育成を目指しており、大学での講義と企業実習を組み合わせ実施します。

実習先の企業においては、「群馬大学との連携強化」や「学生に対する企業情報の発信」、「SDGs 推進や CSR 活動としての PR」、「商品開発や情報発信に学生のアイデアを活用」などの効果が期待されます。

この群馬大学の取組を支援するため、令和7年度の企業実習に協力いただける企業を募集します。

※詳細は本紙同封の折込チラシをご覧ください

●企業実習の概要（予定）

人 数	学生を4～5人のグループに分けて派遣
グループ数	1グループ以上
時 期	8月中旬から8月下旬のうち、任意の2日間程度
実習内容	各企業で自由に設定していただけます。
対 象	鉱工業、建設業、情報通信、商業、サービス業など、全ての業種が対象です。事業規模は問いません。

その他 2月下旬にオンライン説明会を実施します。その後、参加可否の最終判断をする流れになりますので、この申し込みの時点では企業実習への参加を確約する必要はありません。詳しい日時とは申込後に別途案内するほか、桐生市ホームページにも掲載します。

●申込み

1月31日（金）までに、①企業名、②所在地、③担当者連絡先（役職、氏名、電話番号、Eメールアドレス）を記入し、E-mail (pbl@ml.gunma-u.ac.jp) で、群馬大学理工学部（担当：中島）へ。

過去にご協力いただいた企業も、お手数ですが、改めてお申込みをお願いいたします。

●問い合わせ

桐生商工会議所工業課 ☎0277-45-1201
群馬大学理工学部 ☎0277-30-1003



第62回桐生八木節まつり 開催日程

令和6年12月9日に開催された第61回桐生八木節まつり主催団体代表者会議にて、次回（第62回）桐生八木節まつりの開催日程が以下のとおり決定しました。

第62回桐生八木節まつり
令和7年8月1日(金)・2日(土)・3日(日)



「再商品化委託申込」受付中 2月14日(金)まで

商工会議所では「容器包装リサイクル委託申込み」の受付を行なっています。

法律に基づき「特定事業者」に該当する方は手続きが必要となります。義務を怠ると罰則適用に至りますのでご留意をお願いします。家庭から出るごみの約6割が、商品に付加される「容器」や「包装」です。義務を果たすことで循環型社会の実現に貢献いただけます。

対 象 (1)容器や包装を利用して中身を販売する事業者
(2)容器を製造する事業者
(3)容器や包装が付いた商品を輸入して販売する事業者

申込期限 令和7年2月14日(金)

委託申込 桐生商工会議所工業課 ☎0277-45-1201

特定事業者の判断等は、(公財)日本容器包装リサイクル協会コールセンターまで ☎03-5251-4870

容器包装リサイクル法詳細は、ウェブをご覧ください。
(<https://www.jcpra.or.jp/>)



令和6年分 決算書と申告書の 作成指導会のご案内

令和6年分決算書と申告書の作成指導会を開催します。申し込みは事前予約制とさせていただきます。

日 程 令和7年3月4日(火)

開催場所 桐生商工会議所6階ケービックホール

対 象 者 桐生市内の青色申告者（個人）

申込期間 令和7年2月3日(月)～2月14日(金)

申込・問合せ 桐生商工会議所商業課 ☎0277-45-1201

※詳細は桐生商工だより2月号でご案内します



職訓センター 講座案内

パワーポイント講座

期 日 令和7年2月14日から3月14日までの金曜日(5回)

時 間 午前10時～正午

内 容 パワーポイントの基本操作やスライドの作成、効果的なプレゼンテーションの作成方法を学びます。

対 象 マウスの操作や文字入力ができる人

募集人員 16人（先着順） **テキスト代** 1,320円

受 講 料 5,500円（市外在住の方は6,600円）

申 込 み 1月9日(木)から1月29日(水)まで

場 所 桐生市職業訓練センター（相生町5）

受付時間は月～金曜日の午前9時から正午、午後0時45分から5時まで。土・日曜・祝日は休館です。詳しくは桐生市職業訓練センター（☎0277-54-2101）へ。



「令和7年度高年齢者活躍企業コンテスト」のご案内

働くことを希望する高年齢者が、年齢にかかわらず生涯現役でいきいきと働けるための職場づくり（雇用管理や職場環境改善）のために企業が行った創意工夫事例を募集中です。多数のご応募をお待ちしております。

応募資格 高年齢者が65歳以上になっても働ける制度を導入し、高齢者が持つ知識や経験を十分に活かして、いきいきと働くことができる環境となる創意工夫がなされていること、及び、労働関係法令に関して重大な違反がないこと など

応募締切 令和7年2月28日(金)

応募先 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構群馬支部 高齢・障害者業務課
〒379-2154 前橋市天川大島町130-1 ☎027-287-1511

※ 応募に関する詳細は、当機構のホームページをご覧ください。(URL) <https://www.jeed.go.jp/elderly/activity/activity02.html>

主催 厚生労働省、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（JEED）
（高年齢者雇用に関する各種助成金についてもぜひご活用ください。）



群馬県内で適用される最低賃金はすべて改正されました

確認しよう、最低賃金！

群馬県最低賃金（地域別最低賃金）		1時間 985円	発行日／令和 6 年10月 4 日
特定最低賃金	【製鋼・鉄素形材製造業最低賃金】	1時間 1,067円	発行日／令和 6 年12月28日
	【一般機械器具製造業最低賃金】	1時間 1,056円	
	【電気機械器具製造業最低賃金】	1時間 1,056円	
	【輸送用機械器具製造業最低賃金】	1時間 1,056円	

最低賃金は時間額で定められており、群馬県内のすべての労働者とその使用者に適用されます。

詳しくは、群馬県労働局労働基準部賃金室（☎027-896-4737）又は県内の最寄りの労働基準監督署へお問い合わせください。

群馬労働局 URL：<https://jsite.mhlw.go.jp/gunma-roudoukyoku/home.html>

賃金引上げを支援する各種助成金もご活用ください。 各種支援策のご案内はこちら→



自動車税の納税は口座振替が便利です

同一名義の自動車すべての口座振替手続きが一度にできます。また、自動車の買換後も振替は継続します。

申込方法 行政県税事務所、市役所、各金融機関で配布しているはがきに必要事項を記入しポストに投函（申込はがきは郵送でもお送りします）

申込期限 令和7年2月28日(金) 必着

問合せ先 桐生行政県税事務所（☎0277-53-2113）、群馬県自動車税事務所（☎027-263-4343）

自動車税は4月1日現在の車検証上の情報をもとに課税されます。お使いだった車を譲渡した場合、お引越をされた場合は、車検証の内容を3月31日（月）までに必ず変更してください。

企業間の人材マッチングの支援を行っています！

- 人材を採用したい企業に対しては、現在登録されている人材リスト等から、最適な人材情報の提供と紹介をいたします。
- 人材を他の企業等へ送り出したい企業に対しては、ご相談のうえ、受入企業のあつせんをいたします。
- 雇用確保措置修了予定者の登録（キャリア人材バンク）による高年齢退職者の再就職支援をいたします。



- 企業が様々な事業により雇用調整や事業所閉鎖等で人員整理等（希望退職者募集や解雇など）を行う場合、あるいは事業所の移転や業務の変更などに伴い離職者が発生する場合は、ご相談のうえ理離職予定者の希望により在職中の登録していただき、離職後一年間、再就職の支援をいたします。

費用は一切無料です、お気軽にご相談ください。

無料職業紹介事業許可番号
13-ム-030002



公益財団法人 産業雇用安定センター群馬事務所

〒371-0844 前橋市古市町 1-50-1（新前橋駅前 吉野屋ビル 3F）TEL.027-255-2586 FAX.027-280-3402



会頭年頭あいさつ

両毛五市（足利・佐野・館林・太田・桐生）の商工会議所では、協議会を設け様々な共同事業を実施して地域の交流を図るとともに連携を深めています。新年にあたり、各地商工会議所会頭の年頭所感の中から令和7年の重点事業、重点項目などを抜粋し紹介します。

足利



足利商工会議所
会頭
相馬 稔

明けましておめでとうございます。

昨年、足利と所縁の深い「ユニチカ」が繊維事業から撤退し、経営の立て直しを行うとの発表がありました。「ユニチカ存続の最後のチャンス。生き残りをかけて再生に取り組む」とのコメントが発せられましたが、変化を恐れず素早く対応する「チャレンジ力」、強い意志と勇気をもって変化に挑む「チェンジ力」の必要性を改めて噛みしめています。

今年は、多くの経営課題に果敢に取り組む会員事業所の皆さんと一緒に考えて、発展させ、地域や企業の「稼ぐ力」の強化に取り組んでまいります。また、創始110年を迎える「足利鎧武者行列」や全国から

（桐生は一頁の桐山会頭挨拶を参照）

多くのお客様がお見えになる刀剣「山姥切国広」展などのイベントも支援し、まちの賑わいの創出を通して交流人口や定住人口の誘引につなげてまいります。結びに両毛五市商工会議所が一層連携を強めることで地域全体の活力と発展につながることをご期待申し上げ、新年の挨拶いたします。

佐野



佐野商工会議所
会頭
吉澤 慎太郎

新年あけましておめでとうございます。

市内企業の景況感は改善し、ようやくコロナ禍前の水準に近づいてまいりましたが、管内事業所においては、深刻化する人手不足に加え、原材料費やエネルギーコストの高騰により収益が圧迫され、依然として厳しい状況が続いています。

この様な状況のもと、会員企業の経営力維持向上を支援する活動や定住促進を見据えた街づくり等、地域活性化を推進する事業を重点施策に掲げ、地域経済の振興発展のため積極的に取り組んでいます。

当所会員の退会理由の6割が廃業であり、このような中では創業支援が特に重要です。「創業するなら佐野で」をキャッチフレーズとして、新たに創業塾卒業生向けのフォローアップ事業やネットワーク構築に力を入れるとともに、市や商工会と連携しながら創業支援を強化いたします。

結びに皆様の御健勝と企業の御発展、そして本年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

館林



館林商工会議所
会頭
正田 隆

両毛五市商工会議所会員の皆様におかれましては、新春を晴れやかに迎えの事と存じます。今年の干支は乙巳（きのと・み）です。「多くの人にとって成長と結実の時期」となる可能

性が高いとことです。昨年から一歩前進して、今迄の努力や準備が実を結び始める時期のようです。

昨年、日本商工会議所小林健会頭が日本経済新聞のインタビューに答えた記事が印象的でした。大企業が強者の理論をふりかざすのではなく、下請けの中小企業に課題である原材料価格や光熱費の高騰などのコスト増に対して、価格転嫁を認めてほしいと語りました。これにより賃上げも可能になり、デフレからも脱却し、適正な経済の循環を生むことを期待します。

館林商工会議所は引き続き、資金繰り対策、事業承継、人手不足、中心市街地活性化等の課題や、さらに女性経営者の創業支援やSDGs対応、また生産性向上のためのDXの導入等にも新たにに取り組んでまいります。結びに、本年が皆様にとって健康で、さらなる成長の年となることをご祈念申し上げます。

太田



太田商工会議所
会頭
加藤 正己

令和7年の新春を迎え両毛五

市商工会議所の皆様方には改めて新年のお慶びを申し上げます。昨年は波乱の幕開けでした。元旦より能登半島で大きな地震が発生し、加えて復旧途中の9月には豪雨に見舞われました。悲惨な映像が、2019年当地を襲った台風19号による「激甚災害」と二重写しとなりました。

改めて日本は「地震大国」と同時に「豪雨災害大国」でもある事を強く認識させられました。日頃から地域と行政が連携して防災・減災に努めていく事が大事であると再認識致しました。また、今年は国内・外の情勢が一変する事態になりました。国内では少数連合与党政権に変わり、「賃金と物価の好循環」実現の為、賃金の増額を図る機運にあります。またアメリカに於いては「米国第一」の実現を標榜する政権に変わり、「内憂外患」の事象を打開する一年となると思われます。

大きな変化が予想される年になりますが、今年も両毛五市商工会議所の皆様方との連携を強化し、さらなる両毛地域の発展を祈念申し上げます。



会議所カレンダー 1月

1 水	元日	17 金	笠懸町商工会 新年互礼会 開会：午後6時30分 会場：海鮮ダイニング美喜仁館桐生
2 木		18 土	
3 金		19 日	
4 土	(一社)桐生倶楽部新年互礼会 開会：正午 会場：桐生倶楽部	20 月	総務委員会
5 日		21 火	青年部 経営女子会 桐生税務署管内青色申告会連合会及び桐生青色申告会役員新春交歓会 開会：午後5時30分 会場：桐生商工会議所ケービックホール
6 月	仕事始め	22 水	次世代トップリーダー養成講座（1日目） 青年部 会員交流委員会
7 火	青年部 正副直前会長会議 桐生商工会議所新春互礼会 開会：午後4時 会場：桐生商工会議所ケービックホール	23 木	次世代トップリーダー養成講座（2日目） 桐生労働基準協会産業安全衛生祈願祭・新年互礼会 開会：午後4時 会場：桐生商工会議所ケービックホール
8 水	青年部 大会準備委員会 上毛新聞社新年交歓会 開会：午後12時30分 会場：日本トーターグリーンドーム前橋	24 金	
9 木	青年部OB会 役員会	25 土	
10 金		26 日	
11 土		27 月	正副会頭会議／常議員会 環境・生活部会 協議会／新年懇親会 開会：午後6時 会場：たつ吉
12 日		28 火	桐生群銀会新年会 開会：午後5時30分 会場：桐生商工会議所ケービックホール
13 月	成人の日	29 水	
14 火	青年部 役員会 FTまちづくり委員会 桐生市繊維団体合同新年会 開会：午後5時30分 会場：桐生地域地場産業振興センター	30 木	あしぎん経友会新年会 開会：午後6時 会場：桐生商工会議所ケービックホール
15 水	(一社)桐生青年会議所 新年互礼会 開会：午後6時30分 会場：桐生商工会議所ケービックホール	31 金	桐生地区プラスチック工業会 新年懇親会 開会：午後6時 会場：吉野家 青年部 新年会員交歓会 開会：午後6時30分 会場：桐生商工会議所ケービックホール
16 木	桐生イノベーションプロジェクト実行委員会		
17 金	特許発明相談会 群馬県商工会議所連合会新年互礼会 開会：午前11時 会場：前橋商工会議所会館サクラ 女性会 新春祝賀会 開会：午後6時 会場：トラットリア・バルボン		

12/18現在

上記の新年会日程は開催内容が変更になる場合があります。何卒ご了承ください。

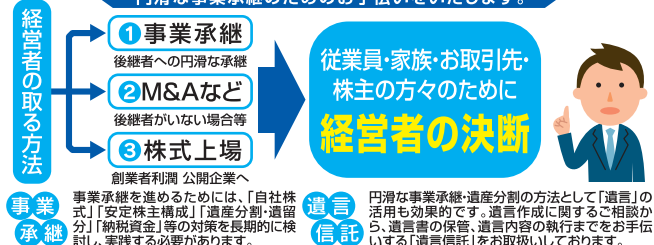
新入会員（特別会員）の紹介

ご入会ありがとうございました（令和6年11月21日～12月16日現在）

部 会	商業	部 会	環境・生活
事業所名	美濃屋	事業所名	nikkoya
業 種	焼きまんじゅう	業 種	美容業
代表者	徳 江 輝 雄	代表者	高 橋 香 里
住 所	みどり市	住 所	新里町

事業承継のサポート

円滑な事業承継のためのお手伝いをいたします。



事業資金・経営課題の解決に関することは

群馬県信用保証協会

お気軽にご相談ください

桐生支店 TEL.0277-43-6211

HPアドレス <https://gunma-cgc.or.jp/>



株式会社 **サンフード** ●事業本部●
みどり市笠懸町鹿5-3
TEL.0277-76-8187

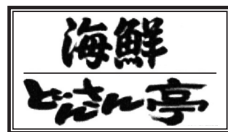


相生店 52-9700
新宿店 22-4129

安さがおいしい
楽しさがおいしい



新宿店 46-4129



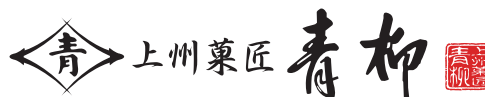
新宿店 46-5222



桐生店 32-3008



近代化産業遺産（青柳本社）



本社	桐生市東7-3-62	☎ 0277-46-7098
本店	桐生市本町5-364	☎ 0277-22-0303
ノギリ屋根店	桐生市東7-3-62	☎ 0277-45-2120
桐生相生店	桐生市相生町2-837	☎ 0277-53-8771
みどり笠懸店	みどり市笠懸町阿左美591-4	☎ 0277-30-8165
太田西本町店	太田市西本町5-35	☎ 0276-52-8684
太田二ツ木店	太田市新田市新井町592-13	☎ 0276-57-2851
前橋元総社店	前橋市元総社町2468-1	☎ 027-254-3343
伊勢崎連取店	伊勢崎市連取町3336-7	☎ 0270-75-4820



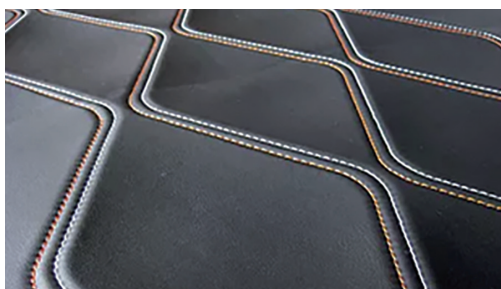
ALL FOR SMILE

当金庫は令和7年2月14日に
創立100周年を迎えます

桐生信用金庫



伝統とは、新しい挑戦の積み重ねから生まれるものだ。
www.kasamori.co.jp



◆大型電子ミシンによる縫製サンプル
500mm×1000mmの大きさに様々なデザインで縫製できます。

ISO9001：2015 認証取得
自動車シート及び内装部品 製造

KIRYU Sewing

株式会社 桐生ソウイング

代表取締役 藤生 直哉

〒379-2302 群馬県太田市山之神町505-1
TEL.0277-46-6115 FAX.0277-46-6115